

タイ・ボランティア KMITL

留学報告書

学部学科・研究科専攻	人文学部人文学科		留学時学年	3年
留学先	国	タイ	大学/機関	モンクット王工科大学 (KMITL) ラートクラバン校
期間	2025年2月3日～2025年2月13日			
	短期	計 10日		

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名（受講科目・複数可）

- ・授業時間数：
- ・科目名：ボランティア研修

[2] 授業内容について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

- ・日本人学生 9 人、タイ人学生 14 人、先生は日本人の先生が 1 人とその他現地の先生
- ・使用教材なし
- ・現地の高校生に日本文化（折り紙、けん玉など）を教えたり、タイの文化を体験した。（お菓子作りや踊りなど）、高校のモニュメント建設を手伝ったり、ミミズの肥料作りなどを体験した。後半はスパンブリー県、アユタヤなどの観光地見学をした。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

- ・スパンブリー県での活動について
午前には現地の高校生に日本文化（折り紙、けん玉）など教えたり、日本のお菓子作り（団子）、タイのお菓子作り、ミミズに肥料作りを体験した。午後はタイの竹細工、藁細工作成体験や芸能（ダンス）を体験した。スパンブリー県の滞在後半は現地の観光地など見学をした。（市場や日本の神社、牛に乗った）、スパンブリー県からバンコクに帰る道中にアユタヤの遺跡によったり、ゾウに乗った。
- ・バンコクでの活動について
1 日フリーの日があるが、タイの学生などで行くところを決めて、三大寺院などに行った。最終日にも寺院に行き、サイアム（東京でいう渋谷みたいなところ）でお土産を買った。

タイ・ボランティア KMITL 留学報告書

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

バンコクでの滞在時は大学の寮で寝泊まりスパンブリー県では高校に寝泊まりをした。

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1部屋 2 人で使用（バンコク滞在時）、スパンブリー県では教室で寝泊まり

様子：バンコク滞在時、大学の寮に寝泊まりしたが、シャワーお湯出るし、ベットあるし、洗濯機もあるし、全体的に綺麗だった。

スパンブリー県滞在時、高校で寝泊まりしたが、シャワーはお湯が出ない。寝袋で寝る生活だった。どちらもトイレトペーパーがないので、持参しておくことがいい

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- 楽しかったこと：
 - ・現地の学生と共同生活ができたこと。
 - ・言語や文化は違って気持ちも共有できたこと。
 - ・史跡を見れたり文化を知ることが出来たこと。
- 苦労したこと：
 - ・言語の違いにより自分が伝えたいことが伝えられなかったこと。
 - ・食事が辛い物が多かったこと。
 - ・シャワーはお湯が出ず水だったこと。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

10日間と期間が短いこともあり語学力の成果はあまり感じられなかった。

2) 専門知識の向上：

異文化コミュニケーションや日本とは違った文化を体験できた。

3) 自己成長など

日本とは違った環境でも適応できたこと。

皆で協力してモニュメントを作成したり、現地の高校生に日本文化を教えたりチームワークを育むことが出来たこと。

タイ・ボランティア KMITL 留学報告書

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

プログラムが充実していて 10 日間はあっという間なので、1 日 1 日を貴重な経験として楽しんでください。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額（当時の日本円）
渡航費（旅行会社に支払った経費）	20 万
授業料以外の諸経費（教材費・課外活動・保険料等）	上記に含む
私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）	2000baht
現地からの奨学金がある場合	
お土産代や個人的な買い物	4000baht
その他（ ）	
留学に関する費用の総額	23 万

海外派遣留学生
タイ・ボランティア KMITL
留学報告書

